

国立病院機構 大阪医療センターリボンズハウス 2017年度活動報告

(期間:2017年1月~2017年12月)

1. 施設名称:国立病院機構 大阪医療センターリボンズハウス

住所:大阪府大阪府中央区法円坂2-1-14

【特記すべき活動内容】 患者情報室(病気の先輩の体験談、医学書、医療情報やインターネットを通じて、病気について「生きた情報」を知る、読む、見る、学ぶ広場)に「がんに特化したリボンズハウス」を併設、ボランティアが支援しています。

2. 具体的な活動

項目	テーマや実施内容など	時期・対象
1 地域の方向 けイベント・ セミナー	◇第6回・支えあいの輪 「がんとお金と仕事と私」 ・第1部・講演 ・第2部・がんサロン	・2017年3月18日(土) 13時~14時 ・対象:患者・家族・一般
	◇音楽コンサート(3回) 1)サマーコンサート(参加90人) 2)オータムコンサート(府医フィルハーモニー、参加132人) 3)Xmasコンサート(参加105人)	1)2017年6月20日(火) 2)2017年11月04日(土) 3)2017年12月12日(火) ・対象:患者・家族・一般
	◇おおさか健康セミナー	・年4回実施 (1月・4月・7月・10月) ・対象:患者・家族・一般
2 患者・家族と の交流会、 定期的集い	1)リボンズハウス勉強会 2)患者サロン「女性がん患者の会 ハーブ」 3)タオル帽子作り体験教室 4)布ぞうり作り体験教室	1)毎月3回~4回実施 ・対象:患者・家族 2)3)4):毎月1回実施 ・対象:患者・家族

項目	テーマや実施内容など	時期・対象
3 ・PR活動 ・募金活動 ・その他	①「RIBBONS-HOUSE」がん治療と生活をつなぐ情報提供 ②大阪医療センターリボンズハウス、ホームページの充実 ③がん支えあい応援グッズ及び、当院オリジナルグッズ販売 ④募金箱設置	・通年 ・患者・家族・一般

3. 最もやってよかった活動とその理由 : 患者・家族との定期的集い。「患者サロン、タオル帽子・布ぞうり作り体験教室」に参加の患者さん・ご家族は、一時でも病気を忘れ、明るく元気で笑いのあるおしゃべりをし、笑顔になります。楽しさを共有し、次また会えることの喜びが心の支えになって、元気に帰っていかれます。

4. 課題 : リボンズハウス(患者情報室に併設)の利用者が**激減(前年比36%)**した。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
利用者数	7377人	6486人	5712人	3640人
前年比	—	△891人 ↓12%	△774人 ↓12%	△2072人 ↓36%

【その理由】 : 2017年4月、外来棟1階より緊急災害医療棟1階に移転。夏場の空調不良による高温と、病棟から遠くなったなどの影響が、利用者の足を遠ざけた。

【その対策】 : ①夏場の暑さ対策(空調機の設置など)を先ず優先する。

②リピーターの増加を徐々に感じている。定期開催の交流の場の充実と拡大を図り、リピーターを今以上に増やしていきたい。

5. 今後やりたい活動 : 設立趣旨である、「がん治療と生活」をつなぐ情報提供に今後も取り組みます。また、『がん支えあいの日』を記念したイベントは継続して開催していく予定です。「来てよかった!」「また来たい!」と思える交流の場を、今後も提供していきたいと思います。

